

市民アートプロジェクト推進事業について

1. 方針

市民主体の豊田市ならではの魅力ある「文化イベント」を作り上げるとともに、市民が積極的・継続的に文化イベントに関わることで、文化芸術活動者の人材育成・発掘や、関心層のすそ野拡大を図る。

2. 目指す姿

豊田を代表するアートイベントを市民自らが創り上げ、プレーヤー・サポーター・ファンなど、文化にかかわる人材を生み出し続けるとともに、市内外から多くの人々が来場し、様々な人が交流する機会となっている。

目的 1

文化芸術(アート)活動をする市民の育成と発掘

- ・動く人を増やす(プレーヤー)
アートの表現者を市民から発掘
(例:画家、演奏者、書道家、写真家)
- ・動かす人を増やす(マネージャー)
アート活動の企画運営者となる市民を育成
(例:アートプランナー、コーディネーター)

目的 2

文化芸術(アート)活動への関心層のすそ野を広げる

- ・楽しむ人を増やす(ファン)
アートに対する市民の関心を高める
(例:鑑賞者、イベント参加者)
- ・関わる人を増やす(サポーター)
アートに関わる市民の積極的な活動を促す
(例:ボランティア)



3. 具体的な取組内容

(1) 市民参加型のアートイベント「とよたまちなか芸術祭」の開催

まちなかの協力店舗や市内公共空間などを会場に、公募による出展者やゲストアーティストの展示・ライブ・マルシェなどを展開する芸術祭で、令和2年度から開催。

(2) 豊田の文化芸術情報を総合的に発信「とよたアートプログラム(TAP)」の運営

豊田市にゆかりがあるアートファンの「TAPライター」が、豊田市の文化芸術情報を紹介するウェブマガジン「TAP magazine」のウェブサイトやSNSを運営。